

○すべてのものが清らかで明るく、生き生きと見える季節です。

○公園内に咲くタチツボスミレ

園内には数種類のスミレが咲きます。その中でも数多く存在するのがタチツボスミレです。薄紫色の花で、地面からシュッと立ち上がるように茎をのばします。通常のスミレと比べ、葉がハート型になるのが特徴です。



①タチツボスミレ

特徴的なスミレの花の形

スミレを近くで見ると、特徴的な形をしていることがわかります。花弁は5枚で、そのうちのひとつが後ろに大きく、根元部分が袋状になっており、後ろに飛び出しています。この袋状の部分を距(きょ)といい、この距に花の蜜が溜まり、昆虫などが蜜を吸い込むことで花粉を付着させ、運んでもらう仕組みになっています。



今月の鳥 【シジュウカラ】

鳥の中でもいち早く春を告げるシジュウカラ。20以上の単語を組み合わせて話していることが明らかになり、国内外のメディアからも大きな注目を集めているそうです。秋から冬にかけて3~10羽の群れをつくり、さかんに会話しています。例えば、「ピーツピ チチチチ」という鳴き声は「警戒しながら、集まれ」という意味になります。公方公園では遊具広場近くの木や、トラエモン道、徳源院付近でよく見かけますよ。シジュウカラを見つけたらどんなおしゃべりをしているか耳を澄ませみて下さいね。



★シジュウカラ

鳴き声	意味
ピーツピー	警戒して!
チチチチ	集まって! (近づいて!)
ツツピー	縄張りの確保、メスを誘う
ジャージャー	蛇がいる
チカチカ	カラスがいる
ヒーヒーヒー	鷹が来た

○ハナミズキとソメイヨシノの関係

ハナミズキは、明治時代末期に日本からアメリカにソメイヨシノを贈った返礼品として、大正時代に贈呈されたのが始まりです。原産国のアメリカでは国を代表する花のひとつとして親しまれています。園内でも、4月から5月にかけて白やピンクの花を咲かせます。



②ハナミズキ

○似ている野草を見分けられるかな?

春に、公園を散歩していると、足元に小さな花を見かけることがあります。一見同じような花に見えても、花の形や葉っぱをよく見ると全然違う花だということに気が付きます。特に、ムラサキケマン、ヒメオドリコソウ、ホトケノザは、色や大きさが似ているので間違いやすい花です。小さな花ですが、その違いを観察してみると、いろんな発見があるかもしれませんね。

○古くから日本人に愛される八重桜(ヤエザクラ)

ヤエザクラはソメイヨシノに比べて花びらの数も多く、その名の通り、花びらが重なって八重咲になります。また、古くから日本人に親しまれており、多くの品種が存在します。開花時期はソメイヨシノのよりも1~2週間程度遅く、ソメイヨシノが散る頃にヤエザクラの開花が始まります。開花の時間もソメイヨシノに比べ、比較的長く楽しむことができます。



③ヤエザクラ



④ムラサキケマン



⑤ヒメオドリコソウ



⑥ホトケノザ

○花が咲き生命力満ち溢れるこの時期に、公園を散策して生き物の力強さを感じてみてはいかがでしょうか。

